

ダイコン新品種 「晩抽喜太一」の特性と栽培のポイント

雪印種苗(株) 千葉研究農場

作物研究室 松井 誠 二

1 はじめに

昨年のダイコンの作柄を振り返ってみますと、まず春先の異常低温により、春ダイコンが予想以上に抽苔しました。特に北海道、東北高冷地では毎年異常気象とも言える中で、昨年は早春の雪解けが遅かったために播種作業が遅れました。さらに、その後も異常低温が続いたために、播種後の低温感応による抽苔が多く発生しました。また、夏は一転して、一昨年に引き続き猛暑に見舞われ、春～夏ダイコンに高温障害が多発し、品質、収量ともに低下しました。

このような中で、本年のダイコンの取り組みを考えると、栽培方法の再検討と品種選定の検討が必要になりますが、当社では『喜太一』よりさらに晩抽性の新品種『晩抽喜太一』を新発表することになりましたので、ご紹介致します。

2 晩抽喜太一の品種特性

喜太一より晩抽性で、喜太一並みに高品質!!

極晩抽性

抽苔は極めて遅く、喜太一よりも晩抽性で、高冷地を主体とする春の異常低温による抽苔は非常に少なく、安心して栽培できます。

ただし、被覆資材を省きすぎる栽培方法や極端な早播きでは、抽苔することがありますので、現地に適した作型で導入して下さい。

根形がきれいで、ひげ根が細い

極晩抽性の品種は、一般にひげ根が太く肌や根形がやや劣るものが多いですが、晩抽喜太一は喜太一と同様に高い品質を持ち、根形はきれいな総太りになり、ひげ根は細く、洗い上がりが喜太一



写真1 晩抽喜太一 根形・肌がきれいで高品質と殆ど差がないくらい、きれいに仕上がります。

草勢がおとなしい

葉は濃緑色で、草姿は初期には開張性でおとなしく、後半にはやや立性となっていきます。ウイルスにも強く、トンネル、べたがけ、マルチ、露地ともに作りやすいタイプです。

根の内部障害に強い

す入りは安定して遅く、肉質は若干ですが硬めです。高温期の出荷でも黒芯、赤芯などの生理障害の発生が極少なく、トンネル遅播き、高冷地の春播きに適します。ただし、過度な遅播きでは内部変色の心配がありますので播種を避けて下さい。

生育

根の太りは若干遅めですが、温度の上昇に伴って良好な肥大性を示します。根長はトンネル栽培で35cm、マルチ栽培で38cm、根径7cm、根重1.3kg程度のきれいな総太りに太ります。また、抽根が遅いタイプなので、曲りが少なく秀品率を高めます。

青首、肌

青首は市場性が高い淡緑色で、肌はなめらかで、

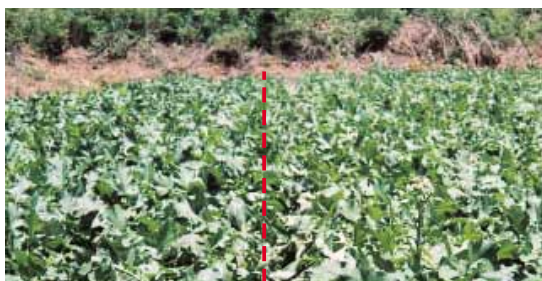


写真2 群馬県高冷地 4月10日播種の比較結果
 左：晩抽喜太一 右：喜太一
 抽苔率4% 抽苔率32%

きれいな洗い上がりとなります。用途は青果をはじめ加工用にも適します。

耐病性

萎黄病には強いほうで、多少の汚染圃場での栽培は可能です。ただし、極強度な汚染圃場では萎黄病の発生が見られますので、圃場選定に留意して下さい。

収穫

抽根がやや遅いので、10~12cmくらい抽根するのを待って収穫して下さい。作型的に高温期の収穫となるため、必ず早朝どりを行って下さい。

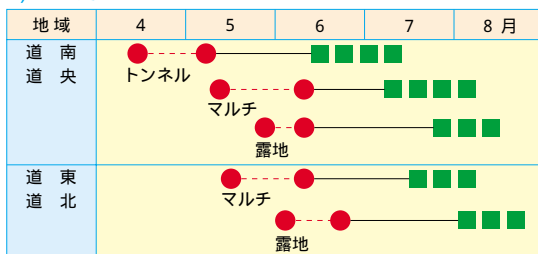
施肥の考え方

施肥は標準~やや多めで、喜太一に準じて下さい。施肥が少ないと太りが遅くなりやすく、多めだと時期によって肩割れなどが心配されます。

3 適作型と栽培のポイント

(●---●：播種期 —：生育期 ■■■■：収穫期)

1) 北海道



トンネルの播種期は喜太一と同じですが、より晩抽性のため抽苔の危険は少なくなります。無理な早播きは短根になりやすく、ひげ根の発生も多くなります。

5月上旬播種はトンネルか、べたがけマルチ栽培とします。晴天が続くと焼けの心配がありま

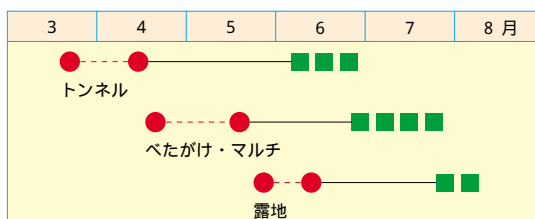


写真3 群馬県高冷地 4月10日播種の比較結果
 左：晩抽喜太一 右：喜太一

すので、天候を見て換気、浮きかけとします。マルチ栽培での8月上旬収穫は、高温障害が発生しやすい作型です。マルチは間引き後に除去するか、切れ目を入れてマルチ内に熱気がこもらないようにします。

6月上旬播種の露地栽培は、肥大期に降雨量が多く、裂根の発生が心配されます。多肥にならないように注意し、栽植密度は10a当たり6,300本程度とします。

2) 東北平坦地



施肥量(N-P-K)はトンネルで10-20-10kg/10a、マルチで7~9-20-7~9kg/10a、露地ではやや少なめですが、肥料切れに注意して下さい。全作型とも播種が遅くなるに従い、施肥量を少しずつ減らして下さい。また、前作の残肥によって調整をして下さい。

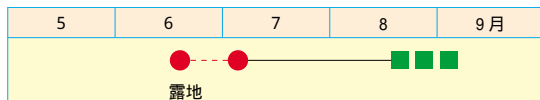
トンネルでは条間30cm、株間30cmの3条マルチが適し、初期の保温は十分に行い、その後、陽気のみて徐々に換気を行って下さい。

マルチの早播きは、地温が上がったのを確認してから播種作業を行い、べたがけ被覆を行うことによって初期生育を進めて、根長を確保して下さい。また、マルチでの無理な遅播きは、尻流れになりますので播種を避けて下さい。

露地栽培では、必ず排水が良い圃場を選定して下さい。高温期の栽培となりますので、生理障

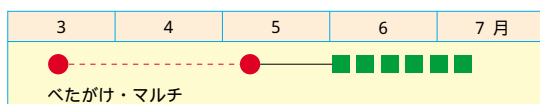
害対策としてFTE（微量要素複合肥料）を4～6kg/10a施用して下さい。遅播きは横痂症，軟腐病などが心配されますので，6月上旬播きまでとして下さい。

3) 東北高冷地（高標高地帯）



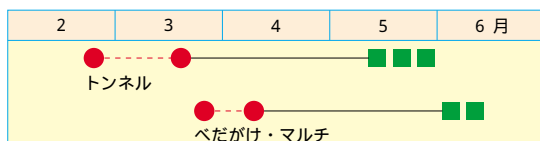
播種は地温が上がってから行い，排水が良い圃場を選定して下さい。高温期の栽培になりますので，生理障害対策を必ず行って下さい。

4) 関東以西高冷地



早播きは，必ずべたがけ被覆を行って下さい。マルチは条間45cm，株間27～30cmの2条マルチが適します。

5) 一般地



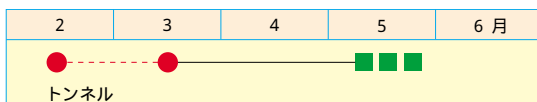
トンネルの換気は，3月以降の陽気をみながら始めます。その後，徐々に換気を強め，4月上旬以降になったら除去します。過度な早播きは短根の原因になりますし，過度な古ビニールの使用は抽苔の原因になりますので，注意して下さい。

表1 品種比較試験 (北海道研究農場)

品種名	根長 (cm)	根径 (cm)	根重 (kg)	根形 (9-1)	そらい (9-1)	青首 (9-1)	す入り (9-1)	花芽率 (%)	抽苔率 (%)
平成12年5月9日播種 7月11日収穫(63日目)									
晩抽喜太一	39.6	7.2	1.24	4	7	4	7	0	0
喜太一	38.1	6.5	1.04	4	7	4	7	33	13
平成12年5月19日播種 7月14日収穫(56日目)									
晩抽喜太一	36.0	6.8	1.17	4	7	3	7	0	0
喜太一	38.0	6.5	1.12	3	7	3	7	30	0

極晩抽性なので，3月下旬播きマルチ栽培で端境期出荷が可能です，冷え込みが厳しい場合は，必ずべたがけ被覆を行って下さい。

6) 暖地



黒芯，赤芯などの生理障害の発生が，極少ないため安心して播種できます。ただし，連作や高温期栽培のために，畑が疲れやすくなりますので，土作りを励行し，生理障害対策としてFTE，ホウ砂などを施用して下さい。

4 むすび

『晩抽喜太一』は喜太一をより晩抽性に改良した品種なので，喜太一以上に安心して栽培ができます。今後，各地で積極的な普及が見込まれますので，ぜひ一度お試し下さい。

サツマイモネコブセンチュウ抑制に大きな効果！

緑肥用ソルゴー

つちたろう®



サツマイモネコブセンチュウに高い抑制効果を持ち、後作物のセンチュウ被害を抑える。
粗大有機物の生産量が極めて多い。
(50～60日栽培で5～6t/10a)
窒素、カリの吸収量が多く、塩基バランスの改善に役立つ。
播種期：高冷地/6月上旬～7月下旬
一般地/5月下旬～8月上旬
暖地：5月上旬～8月中旬
播種量：5kg/10a
すき込み時期：草丈2m
(播種後50～60日頃)

キタネグサレセンチュウ抑制に抜群の効果！

緑肥用エンバク

「ハイオーツ」



生育旺盛で、細茎、多葉、多分つで多収。
キタネグサレセンチュウの密度低減に抜群の効果。
乾物収量が高く、有機物補給にも役立つ。
初期生育が旺盛で、雑草との競合にも負けない。
播種期：東北・高冷地/春播：4月下旬～6月上旬
夏播：7月下旬～9月初旬
一般地・暖地/春播：2月下旬～5月下旬
夏播：8月下旬～9月上旬
秋播：10月下旬～11月下旬
播種量：15kg/10a(センチュウ対抗作物として栽培する場合の基準播種量)
すき込み時期：出穂前後(生育期間2か月程度)
後作の播種または定植の約1か月前



SNOW BRAND

決定版

雪印の早春播きダイコン

新発売



雪印交配

寒 関

STEP I 2dl元詰 20ml

極晩抽性で、青首濃緑な春どり大根。空洞症の発生が少なく、揃い性が優れる。

特 性

極晩抽性の青首総太り大根でトンネル栽培に特に向く。青首が濃緑鮮明で肌は白くきれい。根長36～38cm、根径7～7.5cm、根重1,300g程度に非常に良く揃い、太りが早い。低温、多肥、乾燥等で発生する空洞症に強く、春風太と喜太一のつなぎの作型で最も能力を発揮する。入りは遅く肉質は緻密。葉がでやすいので、生育中期頃からトンネルの換気を十分に行い、窒素は控え目とする。

寒関の栽培時期

地 域	作型	月									
		12	1	2	3	4	5	6	7		
東 北 高 冷 地	トンネル栽培				●	●	■				
	マルチ べたがけ栽培					●	●	■			
関東平原地	マルチ べたがけ栽培		●	●			■				
西日本平原地	マルチ べたがけ栽培	●	●				■				

● 播種期
— 生育期
■ 収穫期



雪印交配

喜 太 一

STEP I 2dl元詰 20ml

極晩抽性でひげ根が細く、揃いが特によい。規格内収量多く、初夏～夏どりに最適。

特 性

極晩抽性の青首総太り型大根。根長、根形の揃いが特によく、ひげ根が細いので洗浄、選別作業が容易。作型は、春のトンネル栽培の中期～後期とマルチ・露地栽培に最も適している。根長36～38cm、根径7cm、根重1,000～1,200g程度、首色は緑色で入りが遅い。萎黄病に強く、赤芯症、空洞症、内部褐変は少ない。規格内収量多く、初夏～夏どりに最適の品種。無理な早まきは短根になりやすく、高温期の栽培は青首の色が淡くなるので栽培をさける。

喜太一の栽培時期

地 域	作型	月								
		2	3	4	5	6	7	8	9	
北海道	道南 トンネル			●	●	■				
	道中央 マルチ				●	●	■			
	道東 露地					●	●	■		
東北・高冷地	道北 マルチ			●	●	■				
	露地				●	●	■			
一般地	トンネル	●	●			■				
	マルチ			●	●	■				
暖地	トンネル	●	●			■				

● 播種期
— 生育期
■ 収穫期